

WEB会報



立憲民主党福島県総支部連合会第2回定期大会



立憲民主党福島県総支部連合会第2回定期大会が4月24日、郡山ビューホテルアネックスで開催されました。小熊慎司衆議院議員が開会あいさつ、金子恵美衆議院議員が代表あいさつ。続いて玄葉光一郎衆議院議員が常任顧問あいさつ、党首の泉健太衆議院議員のあいさつを受けました。

馬場雄基衆議院議員は、トリの頑張り一三唱をつとめました。

活動方針

1. 参議院議員選挙の必勝

7月25日で任期満了を迎える第26回参議院議員通常選挙は、7月10日に投開票が想定されており、現職、新人複数の激戦が予想される。県連としては推薦決定をした無所属「小野寺あきこ」さんの必勝に向けて全力を期す。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症は、国内外においても収束はいまだ先行きが不透明な状況であるため、今後とも県連としては、立憲民主党新型コロナウイルス対策本部等に取りまとめた政策に基づき、PCR検査の更なる拡充、ワクチン接種の円滑な実施、医療体制の拡充等により、新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済・雇用対策等の確実な実施を進め、生活困窮者の支援等、安心して生活できる福島県の回復に取り組む。

3. 東日本大震災、福島県沖地震等からの復旧・復興

11年目を迎えた東日本大震災・原発事故においては、被災者の支援はもとより、被災自治体への復興・復旧に寄り添った支援に努め現在課題のひとつであるALPS処理水の海洋放

出についても適正な対応がなされるよう注視し、国、県への申し入れを引き続き継続していく。また、令和元年東日本台風、昨年の令和3年福島県沖地震、先月の令和4年福島県沖地震においても、度重なる災害に疲弊した被災者に対して、生活および事業の再建に対して支援に努めるとともに、災害に強い県土の復旧・復興に努める。

4. 各種選挙の取り組み

各首長選挙、自治体議員選挙においては、選挙対策委員会を中心とし、候補者の掘り起こしに務め、多くの仲間づくりを目指す。

また、本年施行される福島県知事選挙においては、推薦する候補者の当選に向けて全力で取り組む。

5. 地方組織の強化

昨年の総選挙において、4人の衆議院議員が当選を果たし、増席したことを認識し、「自由」と「多様性」を尊重し、支え合い、人間が基軸となる「共生社会」を創り、「国際協調」をめざし、ボトムアップの政治を实践又は参画しようとする多くの県民に訴えて党員、協力党員、パートナーズの登録確保に邁進し、組織拡大に努め地方組織の強化を図る。